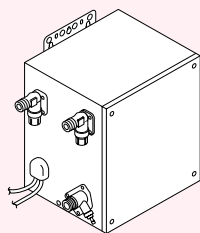


ソーラー対応ミキシングユニット

138-N702型

138-N701型



(138-N702型)

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意).....	1
使用上のご注意	2
システム図	2
しくみ	3
リモコン表示について	5
上手に使ってさらに省エネ	6
凍結による破損を予防する	7
お手入れのしかた	9
故障・異常かな?と思ったら	10
アフタ-サ-ビスについて	12
主な仕様	13

取扱説明書

大阪ガス

このたびは大阪ガスのソーラー対応ミキシングユニットをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。なお、この取扱説明書はソーラー対応ミキシングユニットに関する取扱説明書です。給湯機器の取扱説明書も併せてお読みください。

- ・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
- ・この取扱説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SEB8046



SEB8046 T

必ずお守りください(安全上の注意)

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。

■ 注意・禁止内容の絵表示



⚠ 注意

⚠ シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する
やけど予防のため。



入浴時は、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する
やけど予防のため。



⊘ シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転「切」にしない
高温に変更されたときのやけど防止のため。また、低温に変更されたり運転「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。

⊘ 電源プラグはぬれた手でさわらない
⚡ 感電の原因になります。



! 電源プラグのほこりはときどき取る
ほこりがたまると、発火の原因になります。

⊘ 修理技術者以外は修理・分解・改造をしない
火災や故障の原因になります。

⚡ 必ずアースする
機器が故障した場合、感電の原因になります。

! 凍結による破損を予防する(☞P7)
凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

! 電源プラグは、コードを持たずにプラグを持って抜く
コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



! 電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。



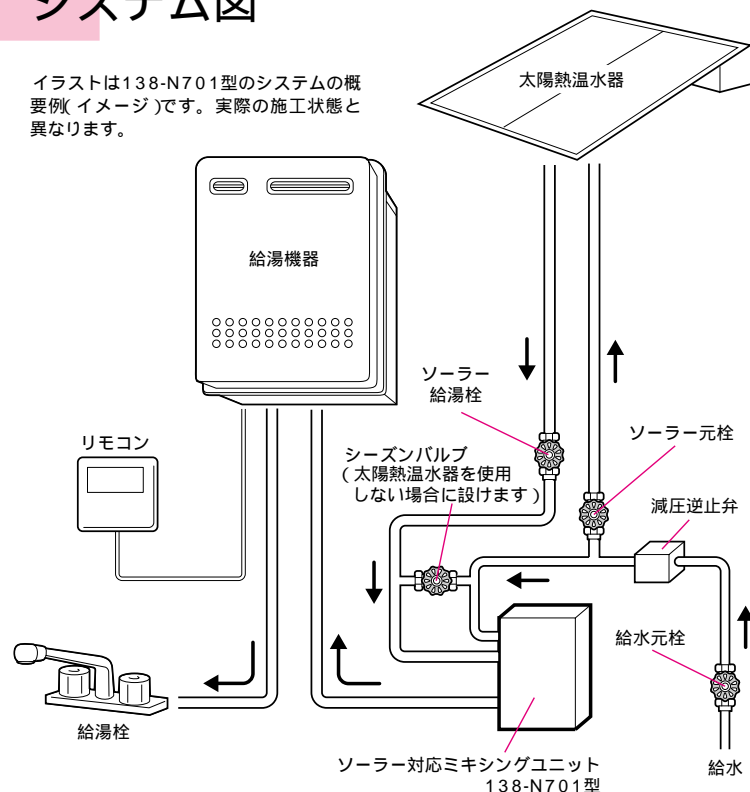
⊘ 電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工しない。
感電、ショート、火災の原因になります。

使用上のご注意

このユニットを設置すると給水圧力が低くなるため、ユニットを設置していない場合より、出るお湯の量は減ります。
お湯の使用中に他の場所でお湯を使ったり、お風呂にお湯はりをすると、極端にお湯の量が減ります。また、お湯はり時間が長くなる場合もあります。
給湯機器の給湯温度を低温に設定しても、設定より少し高めのお湯が出る場合があります。

システム図

イラストは138-N701型のシステムの概要例(イメージ)です。実際の施工状態と異なります。

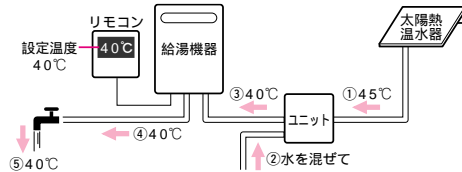


しくみ

例：設定温度=40 太陽熱温水器で沸いているお湯の温度=32 または45

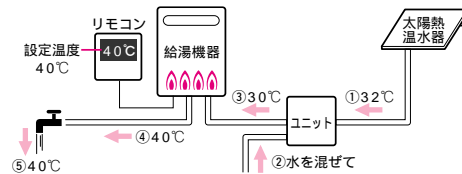
太陽熱温水器で沸いているお湯の温度が、設定温度より高いとき

ユニット内で水を混ぜ、設定温度にしてからお湯を出します。
(給湯機器は燃焼しません、一部の石油給湯機器では燃焼する場合があります)



太陽熱温水器で沸いているお湯の温度が、設定温度より低いとき

ユニット内で水を混ぜ（できるだけ安定したお湯を出すため）、給湯機器で設定温度まで沸かしてからお湯を出します。



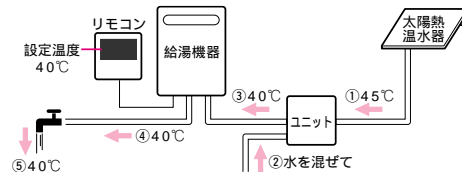
混ぜない場合もあります

運転スイッチ「入」の場合

太陽熱温水器で沸いているお湯の温度が、設定温度より高いとき

ユニット内で水を混ぜ、設定温度にしてからお湯を出します。

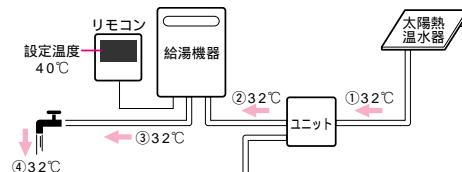
運転スイッチ「入」の状態
で表示する温度



太陽熱温水器で沸いているお湯の温度が、設定温度より低いとき

太陽熱温水器で沸いているお湯の温度のまま、お湯を出します。

運転スイッチ「入」の状態
で表示する温度



設定温度を60℃以上に行っている場合は、安全のため、48℃にしてお湯を出します。

運転スイッチ「切」の場合

注意



やけど予防のために

シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。



リモコン表示について



右のような表示が出るリモコンが取り付けられている場合はユニットや給湯機器の状態をリモコンで確認することができます。

ここでは例2のリモコンで説明します。
 実際の運転のときは、お使いのリモコンの種類や運転の状態によって異なる表示をします。
 その他の表示については給湯機器の取扱説明書をご覧ください。
 表示については、運転「切」時でもお湯を使うと表示します。

時計表示
(例：10時15分)

故障表示
不具合が生じたとき、故障表示します。
(☞P10)

太陽マーク表示
☀️：太陽熱温水器に接続していると表示します。
☀️🔥：太陽熱温水器で沸いているお湯だけを出しています。

断水などで太陽熱温水器が使用できない場合は、太陽マーク表示は消灯します。
リモコンの種類によっては、太陽マーク表示の位置が異なる場合があります。

給湯設定温度表示
(例：41°C)

利用率メーター表示

太陽熱温水器で沸いているお湯の利用率を5段階で表示します。(☞右図) 0% 25% 50% 75% 100%

状況に応じて、表示は変化します。

- * お湯を使っていないときは、最後にお湯を使ったときの利用率を表示します。
- * 最後にお湯を使ってからその後設定温度を変えると、利用率メーターが変化場合があります。
- * 60°C以上の高温に設定した場合は、「高温」表示に変わります。

例：太陽熱温水器で沸いているお湯を50%利用し、残りの不足分を給湯機器で沸かして41°Cのお湯を出しているとき

例：運転「切」でお湯を出すと、右のような表示になります。
 このとき、給湯機器で沸かさないで、お湯の温度は設定温度の半分になります。

太陽熱温水器で沸いているお湯の利用率 (白い部分)

給湯機器で沸かす分 (黒い部分)

反転する

運転「切」では、給湯機器で沸かさない

上手に使ってさらに省エネ

通常の使用方法でも省エネを図れますが、さらに効果を上げたい場合は、下記の例をご参考にお試しください。

- 年間を通して、できるだけ太陽熱温水器で沸いているお湯を使う。
- 冬期など、太陽熱温水器で充分にお湯が沸いていない状態でも、太陽熱温水器を通っていない水よりは水温が高くなっていますので、効果的です。
- 運転スイッチ「切」でお湯を出してみて、その温度で不具合がなければそのまま使う。
- 運転スイッチ「切」では、太陽熱温水器で沸いたお湯だけが出るので、給湯機器で燃焼させずにお湯を使うことができます。(☞P3)

給湯 表示が出ないリモコンをお使いの場合

- 運転スイッチ「入」でお湯を出した場合、燃焼ランプが点灯するときは、燃焼ランプが消灯する温度まで設定温度を上げてみて、その温度で不具合がなければそのまま使う。
- 燃焼ランプが消えているときは、太陽熱温水器で沸いたお湯だけが出ています。給湯機器で燃焼させずにお湯を使うことができます。

給湯 表示が出るリモコンをお使いの場合

- 給湯使用時に、利用率メーターが100%になるまで設定温度を下げる。その温度で不具合がなければ、運転スイッチ「切」にして使用する。
- * 運転スイッチ「入」にしても、給湯機器で燃焼させずにお湯を使うことができます。
- * この方法を利用して、太陽熱温水器の沸き上がり温度を確認することができます。(利用率メーターが100%になった時の設定温度が、ほぼ太陽熱温水器の沸き上がり温度です)

- おふろの自動沸かし開始後、現在のふる設定温度から少しずつ低く調整(現在のふる温度-5°Cくらいまで)して、利用率メーターが100%になるようであれば、その設定温度のまま自動沸かしを続ける。
 そして自動沸かしの完了後、希望の温度に設定変更し、追いきる。
- おふろの自動沸かしはお湯の使用量が多いため、通常のおふろの自動沸かしよりも、効果的です。(この方法では通常のおふろの自動沸かしより時間がかかります)

凍結による破損を予防する

⚠️ 注意

* 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結してユニットが破損することがありますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。

* 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。



ユニット内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。

(運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。)

* 給水・給湯配管や、給水元栓および太陽熱温水器などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)

* 水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

冷え込みが厳しいときは、さらに以下の処置をする。

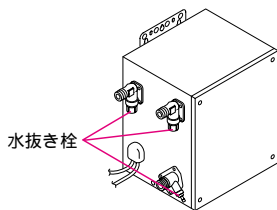
(外気温が極端に低くなる日(-15℃以下)や、それ以上の気温でも風のある日)

* 給湯機器・太陽熱温水器の取扱説明書に記載の、おふろの給湯栓を開いて水を流したままにする凍結予防方法にもとづき、凍結予防をおこなってください。

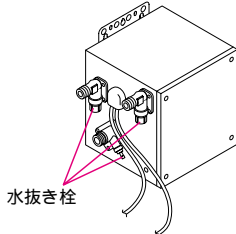
* 給湯機器・太陽熱温水器の水抜きをした場合は、下記の方法でユニットの水抜きもおこなってください。

1. 給水元栓が閉まっていることを確認する。
2. 給湯栓を開ける。
3. 給湯機器の水抜きをおこなう。☞取扱説明書「凍結による破損を予防する」
4. 太陽熱温水器の蓄熱槽内の水抜きをおこなう。
☞太陽熱温水器の取扱説明書「冬期の凍結による破損予防」
5. ユニットの**水抜き栓** 3ヶ所を開ける。
6. 138-N702型の場合は、ユニットの電源プラグを抜く。

【138-N702型】



【138-N701型】



凍結して水が出ないとき

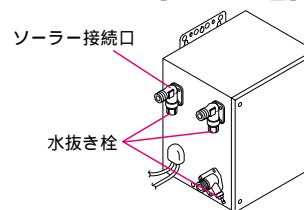
* 自然に解凍するのを待ち、凍結したままでは絶対に使用しないでください。ユニットの故障の原因となります。

* 水が出るようになっても、ユニットや配管から水漏れがないかよく確認のうえ、ご使用ください。

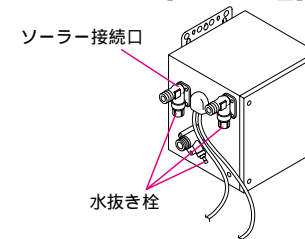
再使用のとき

1. ユニット…………… すべての水抜き栓(3ヶ所)が閉まっていることを確認する。
2. 太陽熱温水器…………… 太陽熱温水器の取扱説明書「冬期の凍結による破損予防(再使用のとき)」にしたがう。
3. 給湯機器…………… 給湯機器の取扱説明書「凍結による破損を予防する(再使用のとき)」にしたがう。
4. ユニットのソーラー接続口の水抜き栓をゆるめて水が出ることを確認し、そのあと水抜き栓をしっかりと閉める。

【138-N702型】



【138-N701型】



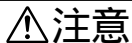
太陽熱温水器を使用しないで再使用するときは

シーズンバルブを必ず設けてください
ソーラー元栓とソーラー給湯栓を開けたあと、シーズンバルブ(☞P2「システム図」)を開けて使用してください。(太陽マーク表示=点灯、利用率メーター=消灯)

お手入れのしかた(月1回程度)

ユニット

ユニットの外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤をお使いください。



注意

* 修理技術者以外は修理・分解・改造をしない。
火災や故障の原因になります。



水抜き栓のフィルター

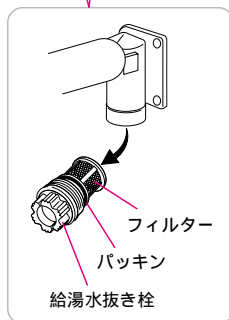
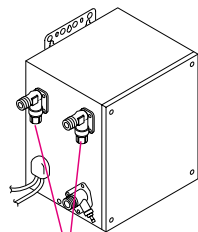
水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

ユニット内のお湯が高温になっている場合があるので、注意してください。

1. 運転スイッチ「切」にする。
2. 給水元栓、ソーラー元栓、ソーラー給湯栓を閉める。
3. 給湯栓を開ける。
4. 水抜き栓を外す。(2ヶ所) ①
5. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。(2)
6. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。
7. ソーラー給湯栓、ソーラー元栓、給水元栓の順に開け、給湯栓から水が出ることを確認する。
8. 給湯栓を閉め、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

- (1) このとき水(湯)が出るので注意してください。
- (2) 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターとの間のパッキンをなくさないように注意してください。

(例: 138-N702型)



故障・異常かな?と思ったら-1

「温度」に関すること

太陽熱温水器でお湯が充分沸いている(天気が良く、十分に集熱できている)のに、お湯を出すすと給湯機器が燃焼する	* できるだけ安定したお湯を出すための制御がおこなっていません。故障ではありません。
お湯の温度が高い	* 給湯機器のリモコンで適正な温度に調整してください。 * 給湯栓から流れ出るお湯が少なすぎるため、給湯機器で制御できません。もう少しお湯を出してください。
お湯の温度が低い	* ソーラーの温度が低い場合、給湯機器のリモコン運転スイッチを入れてください。また、給湯設定温度の確認をしてください。

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	* 太陽熱温水器の蓄熱槽内に水はありますか? ☞ソーラー接続口の水抜き栓をゆるめて水が出ることを確認してください。(水抜き栓の位置☞P8) * 配管が凍結していませんか?(☞P8) * ソーラー元栓は開いていますか?(☞P2) * 上記処置で問題がなかった場合、給湯機器側の異常のおそれがあります。給湯機器の取扱説明書の「故障・異常かな?と思ったら」または「故障・異常の見分けかたと処置方法」をお読みいただき、適切な処置をしてください。
給湯栓から出るお湯の量が少ない	* 他の場所でお湯を使っていますか? * しくみ上、お湯の使用時に他の場所でお湯を使ったり、お風呂にお湯はりをしたりすると、極端にお湯の量が減ります。故障ではありません。 * できるだけ安定したお湯を出すための制御がおこなっていません。故障ではありません。
全くお湯(水)が出ない	* 断水していませんか? * 給水元栓が開いていますか?(☞P2) * 配管が凍結していませんか?(☞P8)

故障・異常かな？と思ったら-2

「リモコン」に関すること

太陽マーク表示・利用率メーターが消灯している

(表示例) 太陽マーク表示
利用率メーター



* 太陽マーク表示・利用率メーターが出ないリモコンの種類があります。(☞P5)

* 太陽熱温水器を使用しないでお湯を使っているときは、このような表示になります。

* 運転スイッチを「入」切した後、下記について確認してから、再使用してください。

- ① 太陽熱温水器の蓄熱槽内に水があることを確認してください。(ソーラー接続口の水抜き栓(☞P8)をゆるめて水が出れば、蓄熱槽内に水があります。)
- ② 配管が凍結していないか確認してください。(☞P8)
- ③ ソーラー元栓が開いていることを確認してください。(☞P2)

以上の操作後も、たびたびリモコンにこのような表示が出る場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、リモコンで故障をお知らせします。リモコンにより運転ランプが点滅したり、故障表示したりするものがあります。

【3ケタ目が「C」の故障表示が出る場合】

ユニットに不具合が生じているので、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

このとき太陽熱温水器のお湯は使用できませんが、給湯機器は使用できます。

【上記以外の故障表示が出る場合】

* 給湯機器側の異常のおそれがあります。給湯機器側の取扱説明書の「故障・異常かな？と思ったら」をお読みいただき、適切な処置をしてください。

【以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください】

- * 運転ランプが点滅するとき
- * 太陽熱温水器を使用しているはずなのに、たびたび太陽マーク表示が消灯するとき
- * その他、わからないとき

(表示例)



アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P10～11「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

型番 …………… 138-N702型、138-N701型
 お買い上げ日 …… 保証書をご覧ください
 異常の状況 …… 故障表示など、できるだけ詳しく
 ご住所・ご氏名・電話番号
 訪問ご希望日



作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスを中断することがあります。(工事店にご相談ください。)

保証について

別添で保証書がついています。

必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。

但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

型番	138-N702型	138-N701型
使用水圧	市水側:73.5kPa(7.5kgf/cm ²)以下 ソ-ラ-側:78.5kPa(0.8kgf/cm ²)以下	98.1kPa(10kgf/cm ²)以下
外形寸法	高さ353mm×幅289mm×奥行245mm	高さ216mm×幅203mm×奥行217mm
質量	11.5kg	5kg
接続口径	ソ-ラ-	R1/2
	水	R1/2
出湯	R3/4	
電源	AC100V(50/60Hz)	
電気関係	消費電力	95/135W(凍結予防ヒータ46W) 5W(凍結予防ヒータ30W)
	電源コードの長さ	2m
安全装置	過圧防止安全装置、緊急時高温防止装置、凍結予防装置	

メモ



メモ欄として活用してください。

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして(火気に注意して)、大阪ガスにご連絡ください。